

第39回各務原市地域公共交通会議 議事録

日 時	令和5年10月26日(木) 14:00～
場 所	各務原市役所 産業文化センター 8階第2特別会議室
委 員 (敬称略)	<p>【出席】(敬称略)</p> <p>相宮 一夫 (岐阜乗合自動車株式会社取締役営業管理部長／代理：宮部 敬輔)</p> <p>後藤 泰之 (名鉄バス株式会社運輸本部交通企画官)</p> <p>豊田 智隆 (東海旅客鉄道株式会社東海鉄道事業本部管理部企画課担当課長)</p> <p>小澤 秀彦 (名古屋鉄道株式会社地域活性化推進本部地域連携部付部長兼岐阜エリア担当／代理：小椋 浩一)</p> <p>石井 靖治 (岐阜交通東部株式会社代表取締役)</p> <p>小島 康史 (岐阜県タクシー協会岐阜支部支部長)</p> <p>木村 治史 (公益社団法人岐阜県バス協会専務理事)</p> <p>正村 明 (岐阜乗合自動車労働組合執行委員長)</p> <p>小島 伸夫 (稲羽川島自治会連合会長)</p> <p>五島 伸治 (蘇原自治会連合会長)</p> <p>浜島 拓郎 (鵜沼自治会連合会長)</p> <p>近藤 亜矢子 (子ども子育て会議委員)</p> <p>清水 孝子 (八木山地区社協理事)</p> <p>渥美 宏 (中部運輸局岐阜運輸支局首席運輸企画専門官)</p> <p>明慶 幸司 (岐阜国道事務所管理第一課長)</p> <p>棚橋 典広 (岐阜土木事務所施設管理課長)</p> <p>城戸 脇 研一 (岐阜県都市建築部公共交通課長／代理：酒井 麻里)</p> <p>黒田 昌弘 (各務原市議会経済教育常任委員長)</p> <p>各務 英雄 (各務原商工会議所専務理事)</p> <p>杉山 仁 (株式会社アイシンビジネスプロモーション部乗合サービス企画室 チョイソコ営業グループ室長(兼)グループ長)</p> <p>川端 光昭 (岐阜工業高等専門学校准教授)</p> <p>今道 雄介 (各務原市副市長)</p> <p>【事務局】 各務原市 産業活力部商工振興課</p>

・委員長あいさつ

・議事

- ①各務原市地域公共交通計画(2024年～2031年)の策定について
- ②各務原市地域公共交通会議設置規約の改正について

・報告

- ①市民アンケートの結果について
- ②ふれあいバス等懇談会の開催結果について
- ③ふれあいバス・チョイソコかかみがはらの停留所の名称変更について
- ④チョイソコかかみがはら停留所の追加について
- ⑤各務原東部線の改正について

・その他

■委員長あいさつ

委員長（今道副市長） 挨拶

本日は、「第39回各務原市地域公共交通会議」に、ご出席いただき誠にありがとうございます。

各務原市は、東西に鉄道が走り、各地に路線バスが運行し、個人の移動にはタクシーと、様々な交通手段があつて、公共交通のネットワークができています。

近年、運転士不足の影響が大きく、全国的に路線の廃止や減便などのニュースを耳にすることも増えていますが、市内路線においても減便や廃止が検討されています。

このように、厳しい状況下ではありますが、まちづくりにおいて公共交通の果たす役割は大きいと考えております。そこで、各公共交通機関が一体となって機能する公共交通ネットワークを確保・維持するため、今年度中を目標に「地域公共交通計画」を策定し、関係者とともに取り組んでいきたいと考えています。

特に本日の議事においては、令和6年度から令和12年度を計画年度とする次期「各務原市地域公共交通計画」の策定に向けて、本年7月に実施した「市民アンケート調査」の結果を踏まえながら、委員の皆様のご意見を伺いたく存じます。

地域を支える移動手段として、議事や各報告事項について、活発なご意見をいただきますようお願いいたします。

■議事

- ・議事① 各務原市地域公共交通計画（2024年～2031年）の策定について
- ・報告① 市民アンケートの結果について

※関連性があるため、議事①と併せて報告①を説明

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p>&lt;A 委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の概要案のうち、課題3の運転士確保について具体的な方策は考えているか。</li> <li>・個別施策のラストワンマイルについて、計画はあるのか。</li> <li>・成果指標の現況値について、今年度の見込みは。</li> </ul>	<p>&lt;事務局&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用対策として、バスの運転士募集をするための専門の求人イベントへの出展は過去に行ってきたが、今後はその他の一般求人イベントへも積極的に出展を促していく。</li> <li>・個別施策の詳細については、次回の会議にて説明する。</li> <li>・利用者数については、今後お知らせする。</li> </ul>
<p>&lt;B 委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報告1-②にある、不満割合の中身は把握しているのか。</li> <li>・不満割合21.6%とあるが、その他の方については、すべて満足という理解でよいのか。</li> <li>・1ヶ月に1回利用する割合について、今回の計画の成果指標から削除したのはなぜか。以前の計画の際に成果指標にあげた目的と併せて、教えてほしい。</li> </ul>	<p>&lt;事務局&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不満割合の中身としては、運行本数・始発や終発の時間・行きたい方向と合っていないなどがあり、資料掲載の数値は、総合的な数値で表している。</li> <li>・「どちらでもない」という回答項目があったため、すべてではない。報1-③の資料に満足度と重要度の詳細を掲載している。</li> <li>・1ヶ月に1回利用したから良いというわけではないと考え、成果指標から削除した。現行計画では、利用促進を反映したいという目的から、利用者増の指標として設定した。</li> </ul>

<p>&lt;C 委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本方針の2つ目で、メインターゲットを20歳未満と75歳以上としているが、20歳未満であると公共交通会議のような会議の場などへの出席が難しい。例えば、小中学生や高校生を巻き込んだ事業について予定があれば教えてほしい。</li> <li>・授業を通して小中学生と一緒に取り組む事業があるといい。小中学生に公共交通への興味を持ってもらえることが、今後意味のあることになってくると考える。</li> <li>・満足度が低く、重要度が高い項目に対して、対応方針は考えて計画の作りこみをしているのか。</li> <li>・アンケートの方法として、世帯ごとに配布しているのか。世帯を基準とした回収率のデータが出るといいと考えるので、世帯別の回収率が分かるアンケート方法を検討して欲しい。</li> <li>・成果指標として、1ヶ月に1回利用する人を今まで使っていない人が使った割合と捉えて、不満割合と併せて考えてはどうか。</li> </ul>	<p>&lt;事務局&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、報告2で報告するふれあいバス等懇談会を夏休みに開催したため、高校生が参加し、通学の時に乗継に困っているといった声をいただいた。今後もできることを検討する。</li> <li>・例えば、川島地区ではコロナ禍前には中学校の進路説明会で公共交通での通学方法についてお知らせしていた。高校へは、バスの利用促進のための周知として訪問する活動をしている。</li> <li>・対応方針については、次回示す計画案にて説明する。</li> <li>・個人を対象に無作為抽出で送付している。アンケート方法については、次回のアンケート実施時に検討する。</li> <li>・次回、計画案を出すまでに検討する。</li> </ul>
--	---

- ・議事② 各務原市地域公共交通会議設置規約の改正について  
特に意見なし

■報告

- ・報告② ふれあいバス等懇談会の開催結果について

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p>&lt;B 委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対応方針に、「地域としての課題があれば、自治会で意見をまとめて提案していただく」とあるが、懇談会で出た意見について、自治会への情報提供はあるのか。</li> </ul>	<p>&lt;事務局&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市としては、地域で検討していくことが必要なものであれば情報提供するが、今回は行っていない。過去に、ケースによっては提供したことがあるため、今後検討する。</li> </ul>

報告・意見
<p>&lt;D 委員&gt;</p> <p>自家用車を利用している現役世代は公共交通への関心がなく、意見を言う方は移動手段に困っている方ということになる。自らの選択で住む場所や生活を決めたにもかかわらず、何でも不満を言うのは好ましくないと考える。市民の方には一度考えた上で意見を言ってほしい。市は、ニーズ (needs) とウォンツ (wants) を同一に捉えず、取捨選択して対応ほしい。</p>
<p>&lt;E 委員&gt;</p> <p>自分だけの良いようにしてほしいという意見を出し合っているのは、それぞれの意見がぶつかってしまう。それぞれが個別の不満を述べていいわけではなく、全体のことも考えることが大切である。</p> <p>八木山地区社協では、名古屋鉄道が紙の時刻表を発行しなくなったことを受けて、地域の人が利用しやすいように自分たちで時刻表を刷って、取り組んでいる。自分たちで努力することも大切である。</p>

- ・報告③ ふれあいバス・チョイソコかかみがはらの停留所の名称変更について
- ・報告④ チョイソコかかみがはら停留所の追加について  
特に意見なし。

- ・報告⑤ 各務原東部線の改正について

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<B 委員> ・利用者数の減少についての原因分析はしているのか。	<岐阜乗合自動車株式会社 宮部委員> ・ダイヤ改正による減便もあるため、一概には言えないが全体的に見て減っている。

■その他

- ①市内公共交通事業者の現況や今後の取組みについて
- ②道路運送法の改正について
- ③デジタルチケット第3弾について・チョイソコかかみがはら視察訪問の件数報告

■総括

川端先生 総括・指摘事項
運転士不足が深刻化する中で、交通事業者は今回の運賃アップ分を基に、運転士の賃金アップに向けて取り組んでほしい。10月の改正法では、「共創」がキーワードになっているが、交通事業者・行政・地域の協力も重要だが、交通事業者同士の共創も重要である。今ある資源を有効活用して、カバーできていないところをいかにカバーするかが大切である。